

体育・保健体育授業の改善・充実に向けて

道教委では、令和4年2月に令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」を公表し、調査結果の分析から見た本道における体育・保健体育授業等の現状や課題、授業改善等に向けた今後の方向性を示したところですが、本資料を活用し、改めて授業改善の方向性について理解を深めていただくとともに、今後の授業づくりの参考にさせていただきますようお願いいたします。

また、令和4年3月9日付けでスポーツ庁から「児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」が公表されましたので、併せて授業づくりにご活用ください。

○ 本道の児童生徒の現状と課題 ※令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

- 授業の中で自分の動きの質の向上（「できるようになった!」、「分かるようになった!」）を実感している児童生徒の割合が少ない傾向にある。
- 自分や仲間の課題を協働的に解決する場面を意図的に設定している学校の割合が少ない傾向にある。
- 体力合計点との相関が見られる「挑戦心」や「自己肯定感」が低い児童生徒が多い傾向にある。

○ 本道の児童生徒の体力向上に向けた体育・保健体育授業の改善・充実に向けた方向性

【単元開始前の意図的・計画的な授業構想】
単元目標や学習の流れ、協働的な学習場面、ICT活用場面を「単元構造図」を活用して関連付けるなど、身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的な授業づくりを行います。

	1 ICT	2	3	4	5	6
学習の流れ	オリエンテーション ハードル走とは	健康観察・部活の振り返り 本時の振り返り ウォーミングアップ	健康観察・部活の振り返り 本時の振り返り ウォーミングアップ	健康観察・部活の振り返り 本時の振り返り ウォーミングアップ	健康観察・部活の振り返り 本時の振り返り ウォーミングアップ	健康観察・部活の振り返り 本時の振り返り ウォーミングアップ
10	学習のねらい 学習のねらい	ポイント確認 資料を見て イントロ確認	ポイント確認 資料を見て イントロ確認	教え合い活動 学習意欲の 醸成、自己及 び他者の健康 の認識	グループ活動 2 本時のねらい 達成の意識 の醸成	グループ活動 3 本時のねらい 達成の意識 の醸成
20	ウォーミングアップ はしの設定 撮影①	3分おき5分おき リズムカンを定 る	3分おき5分おき リズムカンを定 る	練習計画作成 グループ活動 1 練習計画に基づ いてグループ活 動	練習計画作成 グループ活動 2 練習計画に基づ いてグループ活 動	練習計画作成 グループ活動 3 練習計画に基づ いてグループ活 動
30	目標設定 グループ 活動のねらい を明確にする。	①強 ②強 ③強	①強 ②強 ③強	練習計画作成 グループ活動 1 練習計画に基づ いてグループ活 動	練習計画作成 グループ活動 2 練習計画に基づ いてグループ活 動	練習計画作成 グループ活動 3 練習計画に基づ いてグループ活 動
40	整理運動 まとめの振り返り	①特性 ②名前・役割 ③リズム ④挨拶	①特性 ②名前・役割 ③リズム ④挨拶	①練習発見	①練習発見	①練習発見
50		整理運動・本時の振り返り・次の課題	整理運動・本時の振り返り・次の課題	整理運動・本時の振り返り・次の課題	整理運動・本時の振り返り・次の課題	整理運動・本時の振り返り・次の課題
学習内容						
基礎						
発展						
応用						
探究						

【単元を通した対話による協働的な課題解決場面の設定】
自分や仲間の課題に対して、根拠を明確にした個人の考えを整理する時間を設定し、その根拠に基づき、協働的に課題を解決する場面を設定しましょう。



個人用者から集団用者へ



【単元や単位時間における自己変容を実感させるための振り返りの充実】
教師が児童生徒のよさや伸びを適切に見取り、フィードバックするなどのきめ細かな指導を充実させるとともに、自己変容を実感させ、挑戦心や自己肯定感を育成しましょう。

動画を観て思ったこと
打ったら、ちがうところに行くことが多いから、手のひらを打つ方に向ける。あと、足を聞くといい。
せひみんなにもかかせよう!

※ スポーツ庁「児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」P29より一部抜粋

【単元を通したICTの効果的な活用による協働的な課題解決場面の設定】
課題解決に向け、本時で身に付けさせたい資質・能力を確実に育成するため、既習事項やICTを活用しながら、協働的な学びを創出しましょう。



【ICTを活用して、線や言葉で動きの改善のポイントを画像に添えて仲間に伝え、次の学習活動に活かすための工夫】
※ スポーツ庁「児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」P72より抜粋

または、7がボールをキャッチして、その後すぐ3にパスするのでもいいと思う。
7がボールから遠ざかる動きをして空間を作っているから、3はボールに近づいて取りに行くのいいと思う。



授業者 単元スタート → 「知識及び技能」の定着 → 「思考力・判断力・表現力等」の育成 → 「学びに向かう力、人間性等」の涵養 → 単元ゴール